

令和6年度 第1回成人歯科保健推進研修会
－口腔がん かかりつけ歯科医院での早期発見を（2）－
開催要項

1 開催趣旨

厚生労働省の人口動態統計によると令和4年における日本人の死因別第1位は悪性新生物ですが、これは昭和56年以来40年以上にわたって続いており、全死亡者数に対する割合は24.6%となっています。がん死亡者数の中で口腔がんは約2%ですが実数にして約2万2千人、また口腔がん罹患患者数に関しては40年前の4倍以上であり、進行した状態での診断も多く看過できるものではありません。さらに近年では高齢者だけが罹患するのではなく青年期・壮年期の生活習慣が後々に大きく影響すると考えられています。

日本歯科医師会は国立がん研究センターと連携して全国共通がん医科歯科連携を推進しており、人口構造から鑑みて今後はますますその必要性が高くなっていくと思われまます。また埼玉県歯科口腔保健推進計画には目標値を定めた具体的指標として「がん患者に対応可能な歯科医療機関数の増加」「かかりつけ歯科医院を持つ者の割合の増加」が明示されており、歯科医師の役割がたいへん大きくなっています。そのため歯科医院における口腔がんの早期発見はますます重要な案件と考えられます。

そこで今回、講師の岡本俊宏教授により令和4年2月のコロナ禍に開催したオンライン研修会の続編として、この事業を実施することにしました。われわれが注意すべき口腔粘膜疾患や前がん病変の鑑別、口腔がんの病態および治療方法などを正しく理解して、日常の臨床に活用できることを目的とした研修会になります。

なお、あわせて生活習慣病予防のポイントをわかりやすくお伝えする小講演も行います。

2 主 催

埼玉県・埼玉県歯科医師会

3 日 時・会 場

日 時：令和6年10月10日(木) 13時30分～16時00分

場 所：TKP大宮駅西口カンファレンスセンター5F ホール5A

4 内 容

(1) 講 演 「口腔がん－かかりつけ歯科医院での早期発見を（2）－」 *90分

講 師 東京女子医科大学医学部歯科口腔外科学講座

顎口腔外科学分野 教授・基幹分野長 岡本 俊宏

(2) 講 演 「生活習慣病を防ぐために～栄養・運動・休養」 *20分

講 師 埼玉県歯科医師会

地域保健部副部長（成人部門担当） 田中 入

5 対象者

- (1) 歯科医師（埼玉県歯科医師会会員、会員診療所勤務歯科医師）
- (2) 歯科衛生士（会員診療所勤務歯科衛生士、埼玉県歯科衛生士会会員）
- (3) 保健医療関係者（保健師、管理栄養士等）

6 受講料

無 料

7 募集人員

70名

8 申込方法

埼玉県歯科医師会ホームページ「埼玉県歯科医師会主催研修会申込フォーム」にて御申してください。

9 申込締切

令和6年10月3日（木）

10 会場案内図

TKP大宮駅西口カンファレンスセンター5F ホール5A
さいたま市大宮区桜木町1-8-1 ベルヴェオオフィス



※会場は駐車場がありませんので、公共交通機関を御利用ください。